第2章　平成26年度山口大学構内遺跡の調査

第1節　平成26年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市（吉田・白石構内）、宇部市（小串・常盤構内）、光市（光構内）の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡であり、官衙遺跡としても著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物を包含する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡にまたがって立地している。

このような環境の下、山口大学埋蔵文化財資料館は山口大学構内に埋存する貴重な埋蔵文化財の保護・調査・研究・活用する施設として、昭和54年(1979)に職員が配置されて以来、その重責を担い続けている。当館の平成26年度時の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画を確認した後、文化財保護法の諸手続の下、山口大学各構内が位置する地方公共団体（山口県および各市）の指導により、埋蔵文化財保護の観点から本発掘・予備発掘・立会の3種の方法で厳密に調査を行っている。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設（職員宿舎等）敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、できうる限り工事掘削時に資料館員が確認調査を行っている。これらの調査に対する当館の平成26年度の職員配置は、専任教員3名、技術補佐員1名であり、教務補佐員は欠員であった。

上記の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、工事計画、工事設計の変更等で現状保存が可能であるかどうか厳密な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については、地方公共団体への報告後、内業整理等を経て可能な限り迅速に発掘調査概報（年報）を刊行している。

表3　平成26年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積（㎡）	調査期間	本書掲載頁
本発掘	動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事	吉田	R-19　S－19・20	247	11月17日～2月6日	15-133
予備発掘	基幹・環境整備及び診療棟・病棟新営工事	小串		90	9月5日～10月7日	150-155
立会	椹野寮1号棟改修工事	吉田	O－20・21　P－20・21	801	10月9日、12月17日 3月17・23～26日	134-136
	動物医療センター改修電気設備工事	吉田	S－19	9	3月2日	137
	農学部附属農場水田排水路工事	吉田	U・V－17	50	1月27日	138
	経済学部D棟改修電気設備工事	吉田	K－19	4	1月20日	139
	第1学生食堂増築工事	吉田	I－19・20　J－20	360	4月11・21・22・30日 5月14～17・19・20日	140-142
	第1学生食堂増築電気設備工事	吉田	I－19	16	6月17・18日	143
	南門アプローチ整備工事	吉田	H・I－21・22	66.5	11月20・24 12月3・5日	144-149
	基幹・環境整備及び診療棟・病棟新営工事	小串		30	12月11日、3月17日	156-157
	廃棄物管理棟新営工事	小串		149	9月16日	158
	常盤寮C棟新営工事	常盤		103	1月22日、2月12日	159
	教育学部附属光小学校グラウンド鉄棒新設工事	光		23	12月26日	160-163
緊急	教育学部附属光中学校校舎排水管改修工事	光		3	8月27日	164

上記の調査体制の下、平成26年度に当館が実施した大学構内における埋蔵文化財の調査は、表3の通り、本発掘調査1件、予備発掘調査1件、立会調査10件、ライフライン改修のための緊急立会1件のの計14件であった。

吉田構内（本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市吉田1677-1、教育学部附属養護学校：同吉田3003所在）

例年通り、平成26年度の埋蔵文化財調査も吉田構内に集中し、その件数は本発掘調査1件、立会調査7件を数える。

動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事に伴う本発掘調査は、動物医療センター西側空閑地にて実施された。その結果、平成20年度実施の動物医療センター改修Ⅲ期工事に伴う本発掘調査第2調査区にて検出した古代の埋没谷対岸（右岸）を確認し、谷幅が約14mであることが判明した。そのほか、土壙、ピット、溝を検出したが、その分布は希薄であった。遺物としては、谷埋土から8世紀を中心

写真26 吉田構内航空写真（南東から）

写真27 白石構内（教育学部附属山口幼稚園・小学校）
航空写真（東から）

写真28 白石構内（教育学部附属山口中学校）
航空写真（南から）

図１ 山口大学吉田・白石構内位置図

とする墨書土器などの土器類のほか、平成20年度調査同様多量の木製品の出土を見た。当地点より下位に位置する農学部解剖実習棟調査区（平成14年度実施）や総合研究棟調査区（平成12年度実施）では、谷埋土から木製品の顕著な出土を見ないことから、奈良時代から平安時代にかけて当地点周辺に木工に関連する施設が存在した可能性が高いと推定される。

立会調査では、南門アプローチ整備工事に伴う調査にて弥生時代終末期から古墳時代前期の土器を含む河川埋土を検出した。そのほか、第1学生食堂増築工事に伴う調査にて河川埋土と弥生土器を、椹野寮1号棟改修工事に伴う調査にて遺物包含層を確認した。

白石構内（教育学部附属山口幼稚園：山口市白石三丁目1-2、同山口小学校：白石三丁目1-1、同山口中学校：白石一丁目9-1所在）

平成26年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

小串構内（医学部、同付属病院：宇部市南小串1丁目1-1）

予備発掘調査1件、立会調査2件を実施した。保健学科福利棟北側駐車場敷地にて実施した基幹・環境整備及び診療棟・病棟新営工事に伴う予備発掘調査では、現地表下約3mの旧海底堆積層（灰色砂礫に多量の貝が堆積する）から縄文土器片と石錘、古墳時代のものと見られる土師器片の出土を見たが、その分布は希薄であったため、埋蔵文化財保護対応は予備発掘調査にとどまった。そのほかに実施した2件の立会調査においては、顕著な埋蔵文化財は確認されなかった。

常盤構内（工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舎：同上野中町2658-3所在）

常盤寮C棟新営工事が計画された。棟自体は谷の埋め立て地に建設されることとなったため、付属する工事を対象に立会調査を実施した。常盤寮A棟北西の新規配管地点にて行った調査では、造成土下に旧耕土および床土を確認したものの、下位の地山は大きく削平をうけており、遺構が遺存する状況になかった。常盤寮C棟南西に計画された自転車置き場新営工事では、基礎掘削時に調査を行ったが、掘削は造成土内にとどまった。

光構内（教育学部附属光小学校、同光中学校：光市室積8丁目4番1号）

立会調査2件を実施した。教育学部附属光小学校グラウンド鉄棒新設工事に伴う立会調査では、ピット状の落ち込みや暗渠を検出した。遺物としては、縄文土器、土師器、須恵器、鉄器を確認したが、その分布は希薄であった。教育学部附属光中学校排水管改修工事は、ライフライン破損に伴う緊急対応として立会調査を実施したが、埋蔵文化財は確認されなかった。

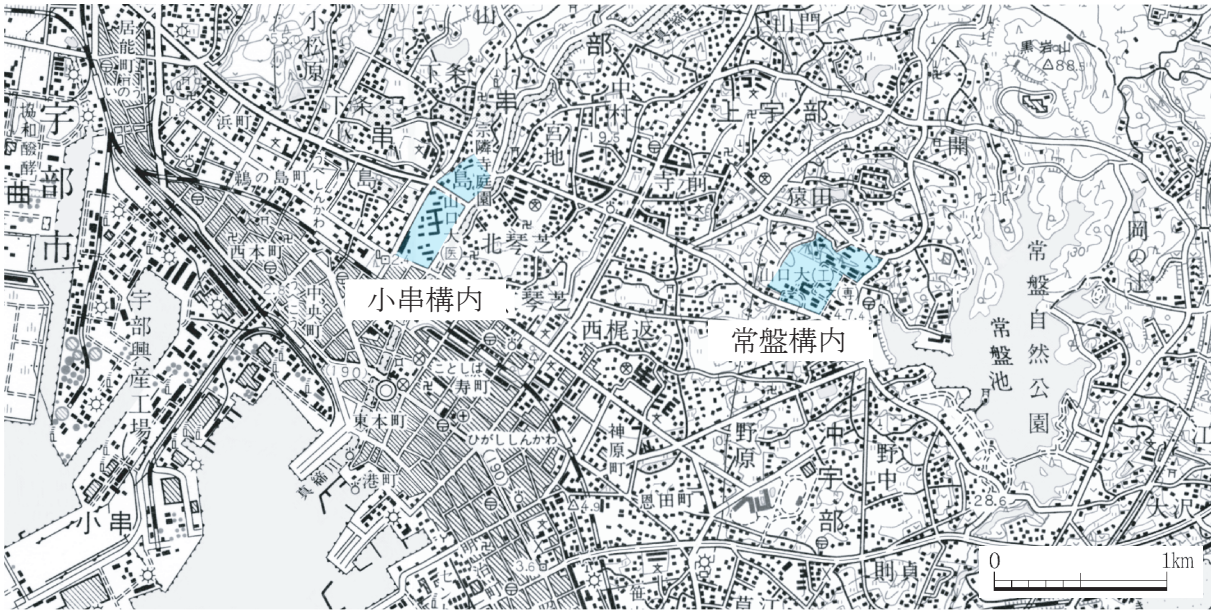

図2 小串・常盤構内位置図

写真29 小串構内航空写真（南東から）

写真30 常盤構内航空写真（南から）

写真31 光構内航空写真（北東から）

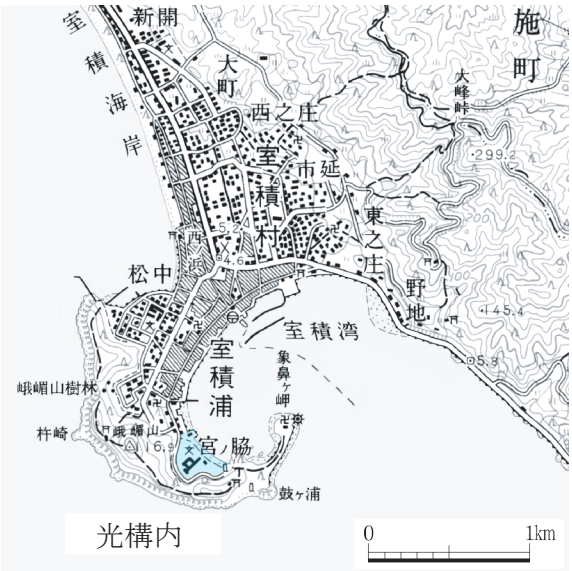

図3 光構内位置図